

やっぺす通信 Vol.26

やっぺす通信とは「よこはま型若者自立塾」による石巻復興支援プロジェクト【うんめえもん市】の活動や石巻の現状、若者支援の活動報告をお伝えしています。石巻の美味しいお弁当を食べながら、遠く東北の地で頑張っている若者達に想いを寄せていただくと嬉しいです。今月もおいしいもの満載でお届けします～。

2014.1.11 発行

うんめえもん応援団

応援ファイル No.9

「もう一段、深い言葉を」

横浜市青少年相談センター
所長 守田 洋

2011年3月11日午後2時46分、私は中央児童相談所の会議室にいました。揺れのあと、すぐにつけたテレビでは、東北沿岸に10m以上の津波が押し寄せるとの警報が盛んに流れていました。

3月末、現職場への内示を受け、若者支援の現場に飛び込むことになりました。着任して、K2には青少年相談センターの支所的機能を持つ南部ユースプラザを運営してもらっていること、全国的にもかなり先駆的な取組をしている団体であるということを知りました。特にセンターには、毎月「うんめえもん市」のお弁当を配達していただき、おいしくいただいています。しかし、同時に届けられる石巻の窮状については、ただ聴くことしかできない自分のふがいなさを思い知らされていたことも事実でした。2012年8月、旅行で東北に行く機会があり、石巻にも寄らせていただきました。群青色に輝く万石浦を間近に望む「K2ハウス」を訪ねました。代表を務めていた香川さんとの会話が印象に残っています。香川さんは、日本の大学で行き詰まりを感じ、K2に相談に行ったところ、ニュージーランドへ留学する機会を得、海外滞在をしたところ、日本の窮屈な価値観に囚われ続ける必要のないことを知り一気に展望が開けたこと。石巻では、たこ焼きカーに乗って仮設住宅を回っているが、行く先々でたこ焼きが大人たちの会話の潤滑油になっていて、とても暖かい住民同士の輪が広がっていること、などを生き生きと語ってくれました。

私は横浜に帰ってきて、香川さんの言葉と、ある石巻出身の作家の書いた本(『瓦礫の中から言葉を』辺見庸)の一節とが妙に重なって心の中で共鳴しています。「人々は本当は、もう一段、深い言葉を欲しているのではないかと、最近、とても強く感じています。被災した人々が待ち望んでいるのは、第一に必要な生活条件、現状の回復でしょう。と同時に、事態の深みに迫ろうとする得心のいく、胸の底にとどく、とどげようとする言葉でもあるような気がします。」という一節です。香川さんは活動においては、単なる「仕事」としてではなく、人間存在として「ともに」深め合え、力づけあえるような「胸の底にとどく言葉」を求めており、仮設住宅の方々も、単なる支援物資ではなく、正面から「生き方」に向かい合う真摯な青年の姿を求めているのではないかと思います。震災については、単なる「復旧」ではなく「復興」を。ということが言われています。日本には大震災後遺症だけでなく、「復興」しなければいけない課題が多々あります。石巻とK2、そして横浜市との出会いから生じたこの事業が、石巻の、そしてこの社会の「復興」に向けて、ますます多くの幸せな出会いを生み出していくことを期待しています。

●守田 洋さんのご紹介(横浜市こども青少年局 青少年相談センター所長)
震災後、プライベートでK2ハウス石巻を訪問する等、いつも私たちの若者支援 × 復興支援の応援をして下さっています。今年の相談センター50周年祝賀会では、実に20年の引きこもりを経て、南部ユースプラザを通じて元気になり、今はうんめえもん市スタッフとなった横手さん(37)が、彼の体験と共に活動PRをさせていただきます。

横浜市青少年相談センター 50周年記念市民講演会
「ひきこもりの理解と支援」
日時：1月18日(土) 13:30～16:30
場所：横浜市西公会堂(入場無料)

クローズアップ ISHINOMAKI VOL.11 ～石巻現地スタッフからの便り～

明けましておめでとうございます。昨年末12月27日、安倍内閣総理大臣が宮城県石巻市を訪れ、9月に完成した「万石浦鮮かき工場」を視察しました。この安倍総理の視察先はうんめえもん市でもすっかりお馴染みの渡波オイスターズの牡蠣養殖漁場であり、K2石巻の若者たちが就労している現場です。復興状況を確認して万石浦で水揚げされた牡蠣を試食しました。

震災3年目を迎えた2013年の石巻を振り返ってみると、石巻経済新聞の記事ランキングでは、食の宮城を象徴するような形で1位から10位の10本の記事のうち6本が食関連の記事だったそうです。そして他にも震災後に復興支援でボランティアから石巻に入り、そのまま移住した若者が立ち上げた飲食店や拠点、初開催となるイベントなど石巻での新しい取り組みに注目が集まっていました。

一方3月から4月の年度変わりには被災地から撤退した支援者が多かったのですが、震災後に本社を石巻市に移した「築地銀だこ」も震災から1000日となった12月4日を区切りに、本社を石巻から東京都内に移しました。佐瀬守男代表取締役は記者会見で「周辺の店が営業を再開し、トレーラーハウスの商店街は一つの役割を終えた。地域の皆さんに支えられ、感謝している」と述べていました。地元の人たちの力と、外からの力が加わり、新しい石巻が生まれようとしています。今年も生きづらさを抱えた若者たちと一緒に石巻に住みながら、生産者さん、製造者さん、お客さん、横浜市さん、販売者さん・・・うんめえもん市に携わってくださる全ての方々と共に新しい石巻に向かって歩んでいきたいと思えます。2014年もどうぞよろしく願っています。

石巻現地スタッフ・NPO ヒューマンフェローシップ 事務局長 福島 竜

石巻からの産地直送便

「あの安倍首相も絶賛！
万石浦の牡蠣！！」

現在うんめえもん市産直プロジェクトでのNo.1商品である
渡波オystersの万石浦の牡蠣をご紹介します。

「おいしい。本当においしい。石巻のかきは、おいしいですね」と安倍首相は12月27日石巻市渡波「万石浦鮮かき工場」を視察した際に牡蠣を試食してコメントしました。この本当に美味しい牡蠣は、渡波オystersが生産している牡蠣の事です。今シーズンは身入りがとてもよくびっくりするぐらいプリプリです。

渡波オystersとは石巻渡波で牡蠣養殖を営む若手漁師8人のチーム。震災後K2グループとの出会いがきっかけで立ち上がりました。昨年、一昨年と3月11日前後は横浜に自ら生産した牡蠣を持って来たり、震災前の漁場に戻っても意味がない！とやる気十分の漁師チームです。

牡蠣が苦手な人でもこの渡波オystersの牡蠣は食べれる！と言う方は珍しくなく、一度食べたら安倍首相が本当に美味しいと絶賛するのも納得がいくはず？！是非食べてみてください！

渡波オysters 商品リスト

※お問い合わせはうんめえもん市事務局まで

- Aセット：殻付き牡蠣(加熱用)10個、むき牡蠣 300g(加熱用)1袋・・・4,800円
- Bセット：殻付き牡蠣(加熱用)15個・・・4,000円
- Cセット：殻付き牡蠣(加熱用)30個・・・6,000円
- Dセット：むき牡蠣 1樽・・・5,000円
- Eセット：むき牡蠣 1樽・・・7,000円



生産者の渡波オysters



極上新鮮プレミアムオysters



のぼりもかっこいい！！

うんめえもん市 今月のオススメ

今回はうんめえもん市でもおなじみの「すき昆布」を使って
「白菜とすき昆布の漬物」のレシピをご紹介します。

作り方

- 1) ざく切りにした白菜と塩をビニール袋に入れて揉みこむ。
洗って切った切干し大根、千切りにした人参も一緒にに入れて揉む。
- 2) すき昆布は軽く水で戻して(3分くらい)きれいに洗った後、
水けをしぼって細切りにする。
- 3) にんにく・しょうが・りんごをすりおろす。
- 4) 1～3の材料に残りの材料をすべて加えてまぜれば出来上がり。
- 5) お好みで食べるときに一味唐辛子を加えてもおいしい。

【白菜とすき昆布の漬物】

○材料(2人分)

- すき昆布：お好みで(5cm四方が目安の調味料です)
- 白菜：4分の1(お好みで) 人参：30g(千切り)
- 切干し大根：20g 塩：小さじ2分の1
- 醤油・酢：各おおよそ2 にんにく・しょうが：各1片
- りんご：4分の1



1月・2月 うんめえもん市の開催スケジュール

◆1月の開催予定日

- ・11日(土)にこまるハニーカフェ BoomBoom 10:00～14:00
- ・16日(木)都筑区役所 11:00～16:00
- ・18日(土)横浜市青少年相談センター 50周年記念市民講演会 13:30～16:30
- ・20日(月)横浜市役所 11:00～14:00
- ・24日(金)栄区役所 11:00～14:00
- ・29日(水)旭区役所 11:00～15:00

◆2月の開催予定日

- ・3日(月)金沢区役所 11:00～14:00
- ・8日(土)にこまるハニーカフェ BoomBoom 10:00～14:00
- ・10日(月)鶴見区役所 11:00～14:00
- ・12日(水)瀬谷区役所 11:00～14:00
- ・19日(水)都筑区役所 11:00～16:00
- ・21日(金)南区役所 11:00～14:00
- ・24日(月)横浜市役所 11:00～14:00
- ・26日(水)磯子区役所 11:00～14:00
- ・28日(金)栄区役所 11:00～14:00

※予定は変更される事があります。詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。